



Southern Cross

くるす  
なびざん

vol.20

KINAN HOSPITAL  
OFFICIAL INFORMATION PAPER  
January 15th.2012

## 新年の挨拶



病院長  
赤木 秀治

皆さま、明けましておめでとうございます。  
昨年日本は3月の東日本大震災と9月の台風12号による大災害に見舞われました。被災した方々には心よりお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復興を祈念いたします。

東日本大震災後には当院からも医療救護班が2チーム岩手県へ出動し、台風12号による災害時にも本宮町と那智勝浦町へ医療救護班が出動し、復興と医療救護に貢献しました。出動した職員及びサポートした職員の皆様は本当にご苦労様でした。

平成23年4月の病院長就任の挨拶の中で私は、平成23年度の事業計画に於いては「住民に信頼されるより良い医療の提供を目指して」を主題として、そのための最重点取り組みとして、「全員参加の健全な病院運営」を挙げました。また主要取り組み項目として、「病院の活性化と効率的な運営」「良質な医療の提供」を挙げました。

その後9か月が経過しました。細部についてはまだまだ実現できていない項目もありますが、全員参加の健全な病院運営に関しては職員の皆様の協力も頂き、少しずつですが成果を上げつつあると思っています。しかしまだまだ病院内外から十分満足して頂ける段階には至っておらず、これからもなお一層の努力をしますので、ご協力ご指導をお願い致します。

さて、ことしの干支は「辰」です。「辰」とは「振るう」の意味で、陽気が動き草木が伸長する状態、とされています。新しい年の息吹を感じます。また「辰」は想像上の動物である「龍」あるいは「竜」とも書かれます。「龍」は鳴き声で嵐や雷雲を呼び、竜巻となって飛翔し昇天する、と言われています。少々荒っぽいイメージもありますが、周囲を巻き込んで強引に引っ張っていくような力強さも感じます。

いずれにしても「辰」は新しい命が成長し、力強く躍動するさまを連想させます。本年が皆さまにとって、そのような年になりますように願ってやみません。



## 紀南地方多施設合同災害机上訓練

大規模災害や事故が発生した場合に、より多くの傷病者を救うには、地域の病院、消防及び行政が適切に連携し協力し合うことが重要です。そして連携を向上させるには、関係機関が一体となって訓練をすることが必要と考え、平成23年12月17日(土)、当院講堂にて、南和歌山医療センター、白浜はまゆう病院、田辺中央病院、田辺保健所、田辺市消防本部、白浜町消防本部そして当院で合同災害机上訓練を開催しました。



土曜日に白浜町堅田のJR踏切で列車事故が起き、99名の傷病者が発生したことを想定し、消防と病院が適切に連携をとりながら、適切な医療機関に搬送し治療するという一連の流れを、シミュレーション訓練しました。やや情報が錯綜したこともありましたが、関係機関同士連携を取りあって各病院とも多くの患者を受け入れることができました。当院も重傷から軽傷まで約40名を受入れ、大変充実した訓練となりました。

今後もこのような合同訓練を継続し、関係機関の連携を強化することで紀南地方の災害医療を充実発展していきたいと考えます。

追記 平成23年11月12日(土)災害医療机上訓練

平成23年12月17日の合同災害訓練の予行演習として、南和歌山医療センターの川崎貞男先生を講師に招き、机上シミュレーション訓練を開催しました。机上シミュレーション訓練についてのノウハウを学習できました。

## 厚生労働大臣表彰を受賞

平成23年11月11日に、玉置中央臨床検査部技師長が、臨床検査を通じ国民医療の発展に貢献したとして、厚生労働大臣表彰を受賞しました。



## 看護学校だより



10月21日(金)、和歌山県看護協会長、保健所長、各高校の校長先生、紀南病院やこころの医療センターの師長、主任等たくさんの来賓、保護者が見守る中、第37回生の宣誓式が行われました。宣誓式は看護師を目指すものとしての専門職業人の自覚を認識するための式です。ナイチンゲール像より厳粛かつ清楚なキャンドルの灯火とナイチンゲールの精神を受け継ぎ、一人ひとりが理想とする看護師像を述べ看護学生としての決意を新たにしました。

11月23日(水)、24日(木)に学校祭を行い、約210名の方にご来場頂きました。学校祭は学生が企画・運営を行い、学年間や地域の人々との交流を図り、自主性・協調性・創造性を養うことを目的に行っています。今年のテーマは東日本大震災の発生、また、紀南地方でもいつ大震災が起こるかもしれないところから「つながろう地域の輪～手を取り合い支え合おう～」とし、地域の方々と手を取り支え合い、人と人とのつながりを大切にしていきたいという思いを込めて取り組みました。

クラス発表は、1年生、「来たるべき大震災に備えての基礎知識～震災の際に用意しておきたいモノ～」2年生、「震災時子どもの遊びを通して～心からの笑顔を～」3年生、「震災後、看護学生の私たちにできること～交流会で一緒に語り合しましょう～」とし、それぞれポスター発表やDVDを踏まえた座談会を行いました。野菜や花などの展示即売、また、豚汁やたませんなど10種類のメニューをそろえた模擬店を開き、献血、骨髄バンク登録などへの協力を行いました。なお、模擬店の利益や募金は和歌山県に大きな被害をもたらした台風12号の義援金に寄付します。



## 地域医療連携だより

辻村外科 辻村 武文

紀南病院を昭和52年に退職した後、地元であるみなべ町で開業してから34年になります。現在みなべ町では、唯一の入院施設のある診療所として頑張っております。

当初は外科医院として診療しておりましたが、最近では内科的疾患を診ることのほうが多く、入院患者様も大半が内科的疾患で入院しておられます。



副院長

院長



紀南病院の先生方には当方がOBと言うこともあり、再々にわたり我儘なお願いを聞いていただき申し訳ありません。これからも宜しくお願いいたします。

当診療所のあるみなべ町は人口約14000人の小さな町で、近年高齢者の占める割合も増加してきたように思います。当診療所の患者様も高齢者が占める割合がおよそ90%で、

以前からずっと通院されている患者様が多く、患者様同士も顔見知りの方がほとんどで、アットホームな雰囲気の中診療させていただいております。

本年4月より息子も日高総合病院より退職し当院勤務となり、現在医師2人体制で診療を行っております。治療方針の違いなどから、時々親子喧嘩することもあります。そこは上手に業務内容を分担しながら頑張っております。

6月からは上部内視鏡も導入しました。現在までに、数十件の内視鏡検査・生検、数件の胃ろう造設術・胃ろう入れ替え術等を行いました。

また2人体制となったことで人的余裕ができたこともあり、今後、往診・訪問看護なども積極的に行っていこうと思っております(少ない予算の中、往診車も購入しました。実際、患者様の中にも夫婦二人・一人暮らしの方も多く、診療所までの送迎が困難な方も居られ、患者様方には喜んでいただいております。)

私事ですが、最近では体力的に衰えたためかゴルフよりも“庭いじり”と“絵画”に興味を持つようになりました。庭いじりでは、プランターにパンジー・サルビア・ケイトウ等を植えて1年中“花のある診療所”をめざして頑張っております。絵画では日本画家の清水達三先生と懇意にいただき、自宅に小さな画廊を持つようになりました。ともに仕事を忘れられ、気分転換になる良い趣味としてささやかながら楽しんでおります。



当診療所は、地域の基幹病院と異なり小さな診療所ですので、医療に関しても最新の治療を行うことは困難だと思われませんが、紀南病院その他基幹病院の先生方と連携を取りながら、患者様に最善の治療をと心がけております。今後も紀南病院の先生方には多々ご迷惑かけるかもしれませんが、色々ご教示下さいますよう宜しくお願いいたします。

# 病院のまど

## 第34回市民健康講座について

糖尿病は食事からとった栄養が変化したブドウ糖が血液中に多くなる病気です。血糖は食事量や栄養素の配分を調節することで、コントロール出来ます。今回は、血糖をコントロールする食生活について、糖尿病専門医と管理栄養士が、食事量の具体例を交え、講演致します。生活習慣が気になっている方も糖尿病を予防したい方も、是非ご参加ください。

日時	平成24年1月29日(日)
時間	午後2:00~3:00
演題	糖尿病と食事 ～生活習慣と栄養バランス～
演者	藤本 特三(社会保険紀南病院 副院長) 小出 知史(社会保険紀南病院 管理栄養士)
会場	紀南病院 3階講堂

## 第33回市民健康講座について (平成23年11月13日開催)

第33回市民健康講座はいぼ痔という誰でも興味がある、しかし誰にも知られたくないというテーマでしたが多くの受講者でにぎわいました。

講師 藤田部長は「この人、いぼ痔か」という顔で隣の人をみないこと、など終始ウイットにとんだお話で会場をわかせていました。講演終了後はひそかな相談のある方々で講師の前に列をつくっていました。

## 編集後記

一年の計は元旦に有り。新年に希望を持って目標を立てたものの、年末には何を抱負にしていたかも忘れてしまったのは私だけでしょうか。数年前から職場では今年目標を提出、半年後にヒヤリング。

これは大変日々研鑽に繋がっています。小さな希望から大きな野望まで、抱負を記している時、人は常に前を向いています。たとえ忘れてしまっても、その抱負はその時の気持ちを記したものの。さあ今年も前向きに一步を踏み出しましょう。 H・I

## daikoku 株式会社 大黒

本社：〒640-8525 和歌山県和歌山市手平 3-8-43

和歌山事業所	：〒641-0012 和歌山市紀三井寺855-71
紀三井寺事業所	：〒641-0014 和歌山市毛見 1111-1
大阪支店	：〒550-0002 大阪市西区江戸堀 3-5-27
南大阪支店	：〒594-0031 和泉市伏屋町2-16-11
紀南支店	：〒646-0011 田辺市新庄町3778-2
神戸支店	：〒650-0023 神戸市中央区栄町通5-2-6
奈良支店	：〒630-8115 奈良市大宮町4-295-10 奈良朝日生命川口ビル 1F
関西空港営業所	：〒590-0523 泉南市信達岡中919-1
新宮営業所	：〒647-0052 新宮市橋本 2-5-61
東京麹町オフィス	：〒102-0083 東京都千代田区麹町3-5-2 BUREX 麹町301号
京都丸太町オフィス	：〒606-8395 京都市左京区丸太町通川端東入 東丸太町32-3 上田ビル 3F

DAIKOKU MEDICAL SUPPLY

保健・医療・福祉の分野で、

「生命を守る人の環境づくり」を通じて

地域の発展に貢献することが

私達の使命です。

SEIKO MEDICAL  
医療の先へ、セイコーメディカル株式会社

● 本 社 〒640-8287 和歌山市橋港6丁目9番地の10 TEL. 073-435-2333 FAX. 073-435-2223	● 田辺営業所 〒646-0011 田辺市新庄町 2744 番地 TEL. 0739-25-4535 FAX. 0739-25-4578
● 大阪支店 〒595-0012 泉大津市北畠中町2丁目5番28号 TEL. 0725-31-3610 FAX. 0725-31-3619	● 新宮営業所 〒647-0072 新宮市 橋 本 2 番 22 号 TEL. 0735-31-9130 FAX. 0735-31-9133
● 紀大前営業分室 〒641-0012 和歌山市紀三井寺 758 番地の 13 TEL. 073-448-3787 FAX. 073-448-3781	● 奈良営業所 〒632-0082 天理市荒藤町 56 番地の 4 TEL. 0743-84-3607 FAX. 0743-84-4810